

府職労2018地方自治研究集会

職場や府民の実態をリアルに報告

特別報告では、大阪北部地震やこの間の集中豪雨の被害状況などについて、青年部の中森副部長（池田土木）が報告しました。

豪雨によって崩壊した道路の修復になかなか予算がつかないことや大雨や台風が続き32時間の連続勤務が続くなど職員が足りていない実態などを報告しました。

また、健康研労組の味村委員長は公衆衛生研究所が「二重行政」という理由で大阪市環境科学研究所と統合され、独立行政法人化された問題について報告しました。

統一・独法後1年が経ちましたが、府・市それぞれが研究がこれまでの業務を進めており、そもそも二重行政ではなかったことを指摘し、研究所が府民の食料や衣類など日常生活に欠かせないものの安全を守る役割を果たしていることを報告しました。



チームで「私たちの行動計画」について話し合う

住民団体からは、歯科保険医協会の和田事務局長が口腔崩壊からみる子どもが学校での歯科検診後に治療できていない実態を調

実態を報告し、維新府政・市政が進めた「二重行政の解消」が何の根拠もないもので、結局は住民犠牲を強いている実態が明らかにになりました。

また、地域医療（住吉市民病院）を充実させる市民会の香田さんは、住吉市民病院廃止後の地域医療の

住民と府職員が一つのチームで話し、考え、力を合わせる

今回の自治研集会で初めて取り入れたワークショップでは、ウォーミングアップでジャンケン大会をしたり、移動式アンケート（今日の体調や住んでるところ

住民のみなさんの特別報告に対する感想（抜粋）

●とてもよかったです。現場の職員の方々がどんな実態で働いているかがよくわかりましたし、研究所の果たしている役割、そついう点から府の職員の人たちの努力や仕事があるからこそ、自分や市民・府民の生活が支



特別報告(災害について説明する中森青年部副部長)

ユニティ・オーガナイズングのエッセンスを学びました。

昼食休憩をばさんで、ペアで「聞く自己紹介」中



ペアで「聞く自己紹介」中

え、チームとしての「私たちの願い」と「私たちの行動計画」について話し合いました。

次につながる画期的な取り組みに

朝10時〜夕方16時半までの長時間の取り組みになりましたが、あつという間に時間が過ぎ、参加者みんなが楽しく学ぶことができました。

府職員からも住民からも「もっと広げたい」「分野別・テーマ別にやってみよう」などの意見も出されており、次につながり、さらに広がる可能性に満ちた取り組みとなりました。

※SDGsとは「持続可能な開発目標」という意味のSustainable Development Goalsの略で、貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動など、21世紀の世界が抱える課題について、永続的な社会・地球環境を構築するための17の目標。2030年までに達成すべきゴールとして2015年9月国連総会採択されました。

参加した住民のみなさんの感想（抜粋）

●一人ひとりが全力で参加者になって楽しめたのがすごくよかったです。ありがとうございます。運動をどのように組み立てるのかについて学ぶことができました。キーワードは「共感をよぶこと」「共感を大切に育てること」「役割分担は一律に押しつけないこと」「特技、得手を活かした分担すること」。

●初めて会う人ばかりの中での貴重な意見を聞かせていただいたありがとうございます。市民と自治体労働組合の連帯、大切と思いました。

●府職労のいろいろな分野の人と話し合え、知り合いになりました。今後の行動において互いに情報交流をしていきます。

●慣れないことでしたが、いろいろな考えられる機会となりよかったです。SDGsに正面から取り組んだことは素晴らしいこと。今後も継続してほしい。

●自治研すごく良かったです。いっしょに活動している青年の仲間にもぜひ参加してもらいたいと思いました。よい学びと実践の場をありがとうございました。

●自治研の取り組みが府政への運動のうねりになっていくと思います。できるだけ参加していきたいです。

●よくしゃべり、よく聞きたかったです。市民と自治体労働組合の連帯、大切と思いました。

●府職労のいろいろな分野の人と話し合え、知り合いになりました。今後の行動において互いに情報交流をしていきます。

自治労連第40回定期大会開催

安倍改憲NO!!

「全体の奉仕者」の役割を発揮して憲法が生かされる地域・職場をひろげよう

8月26日〜28日、堺市にて自治労連第40回定期大会が開催されました。また、25日には都道府県職代会、青年部、女性部をはじめ、各専門部・部会の総会など事前会議も行われました。

全国の仲間へ発信！「いも」学び・考え・行動power

代議員として府職労を代表して討論に参加しました。そして、府職労がこの問題に取り組んできた「西日本豪



改めて、職場の中に労働

2弾) 20人が参加

がかけ

9月7日〜8日、府職労「西日本豪雨ボランティア第2弾」を取り組み、岡山県倉敷市でのボランティア活動を行いました。前回（8月4日）参加者の「また参加したい、もっと広げたい」という声にもとづいて取り組まれました。台風21号の影響もあり、自ら被災したり、業務のため参加



食べました。とてもうれいなど、喜びの声がたくさん寄せられました。また、倉敷市職労の仲間からはマスカットや飲み物の差し入れもいただきました。

府職労では引き続き、北海道胆振東部地震、台風21号、西日本集中豪雨の被災者支援に取り組めます。



何ができるか不安があつると思った。